

第35回

「優秀経営者顕彰」

日刊工業新聞社賞



クリスタル光学
代表取締役

桐野 茂氏

《受賞理由》超高精密研磨をコア技術に、最先端装置の基幹部品生産のほか加工へも事業分野を拡大している。
《喜びの言葉》地道な研磨の積み重ねが受賞につながり、感謝申し上げます。これを励みに社員とともに一歩先を目指します。
(大津市)



上島製作所
代表取締役

佐藤 親弘氏

《受賞理由》ISO/TC45規格に2機種のゴム試験機が採用。タイヤやゴム材料の試験機を開発し、環境社会を支える。
《喜びの言葉》賞をいただいたのはお客さまの支援のおかげです。高性能な機器の開発を通じて、社会へ貢献して参ります。
(東京都国立市)



インタフェース
会長

國司 健氏

《受賞理由》創業40年の産業用パソコン有力メーカー。高い信頼性から社会インフラシステムのの中核で使われている。
《喜びの言葉》お客さまの信頼をつかむための40年でした。今後はソフトウェアやシステムに注力し若い技術者を育てていきます。
(広島市南区)



大成化工代表取締役

首藤 健治氏

《受賞理由》主力の医薬品一次包装容器は品ぞろえで他社を圧倒。薬剤充填済みの注射器事業へ新規参入、高シェアを獲得。
《喜びの言葉》賞をいただいたことを励みに今後も社員とモノづくりに力を注ぎます。独創製品の開発や生産強化にも努めます。
(大阪府茨木市)



ステンレス工機
代表取締役

林原 美代子氏

《受賞理由》経理担当として入社し1998年に社長就任。好財務と積極投資で地域の有力板金部品メーカーに育った。
《喜びの言葉》製造業の女性経営者はまだ珍しいですが、お客さまとスタッフに恵まれたおかげでここまでやってこられました。
(鳥取県日吉津村)



昭芝製作所会長

三原 佑介氏

《受賞理由》20代前半で引き継ぎ、国内外に開発・生産拠点を展開する自動車関連部品大手に育て上げた。
《喜びの言葉》身に余る光栄と責任の重大さを感じます。今後も得意先や社会から信頼を得られる「昭芝ブランド」を築いて参ります。
(東京都練馬区)